

広報紙「北九州市の教育 未来をひらく」をよりよくするために、皆様のご意見・ご感想をお寄せください。

未来をひらく

北九州市の子どものために

平成24年度

教育委員会の主な取組

平成24年度の主要施策の一部をご紹介します。

環境教育の充実

環境未来都市にふさわしい人材を育成するため、教育委員会では、小学校4年生を対象とした「環境体験科」の実施に加え、体験を重視した環境教育をさらに推進していきます。

北九州市環境キャラバン

本市の環境施設や自然を体験的に学ぶことにより、環境教育に主体的に取り組むことができる子ども環境リーダーの育成を図ります。夏休み期間中に小学5年生から中学3年生の希望者を対象として実施する予定です。

ユネスコスクールの推進

ESD(持続可能な発展のための教育)の普及促進のため、ユネスコスクール加盟に向けた登録手続きを進めます。児童・生徒の地球規模の問題意識を高めるとともに、世界中の学校と情報や体験を分かち合うことで、さらなる環境人材の育成を目指します。

※ESD(持続可能な発展のための教育)とは

「Education for Sustainable Development」の略。持続可能な社会作りの担い手を育む教育で、環境教育、人権教育など、幅広い教育を総合的に進めるもの。

読書活動の推進

教育委員会では、「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」に「読書好きな子ども日本一」を掲げ、学校・家庭・地域が総がかりで取り組む重点項目として読書を位置付け、推進しています。

学校における読書活動推進モデル事業の充実

学校における読書活動を一層推進するため、平成24年度は、これまでの14中学校区(モデル校区)に加え、新たに7中学校区に学校図書嘱託職員を配置します。

外国語教育の充実等

外国語教育を充実させるため、全小中学校に外国語指導助手(ALT)を配置し、外国語を使ったコミュニケーション活動を推進します。また、英語の音読暗唱を通じた言語活動の充実を図るため、中学校の生徒を対象とした(仮称)英語大好き音読暗唱ブックを作成中です。

また、一部の小学校においては、低学年から外国語にふれる活動をモデル的に行うことで、5・6年生で行う高学年からの外国語活動の授業への円滑な接続のあり方を研究します。さらに、小学校「夏の教室」においてもALTを活用した外国語にふれる活動の一層の充実を図り、小中連携による外国語教育のあり方を検討します。

災害に強い教育環境の整備

教育委員会では、東日本大震災を踏まえ、災害に強い教育環境の整備を進めます。また、学校における防災・安全教育に関する取組を強化するとともに、保護者・地域の皆様への啓発活動も行います。

学校施設耐震事業

東日本大震災を受け、従来の計画を前倒しして、平成27年度末までの耐震化完了を目指します。

学校施設の防災機能の強化

災害時に高齢者等が安全・安心に避難できるよう、避難所に指定されている学校体育館のトイレやスロープの改修を20校でモデル的に実施します。

子どものための防災・安全対策事業

学校における防災・安全教育の取組を強化するため、指導用資料やDVD教材、児童生徒のための災害時連絡カードを作成・配布し、防災・安全教育の定着と推進を図ります。また、家庭や地域の方への啓発活動も行います。

暑さに負けないぞ!



ミスト発生装置(イメージ)



グリーンカーテン(イメージ)

その他の主な取組

特別支援教育の充実と体制整備
東部地域(門司区)に特別支援学校を新設するための基本計画・設計を行います。

小学校35人以下学級の拡充

教員が子どもと向き合う時間を確保し、きめ細かで質の高い教育を実現するため、35人以下学級を、平成24年度から小学校3年生にも拡充します。

学校施設の暑さ対策等

学校施設の暑さ対策の一環として、グリーンカーテン、ミスト発生装置などをモデル校に設置するとともに、小学校6年生と中学校3年生の普通教室等に扇風機を設置します。

経済界との連携による学校支援モデル事業

企業の人材や経営ノウハウなどを学校教育に生かすため、出前授業や体験学習などを通じて学校支援を行う仕組みをつくります。平成24年度は、モデル校による取組を実施します。



環境未来都市にふさわしい人材を育成します!





教育の現場から

第3回

体力アップ推進事業について

体力は、活動の源であり、健康維持のほか、意欲や気力の充実に大きくかかわっており、人間の発達・成長を支える基本的な要素です。そこで、本市では、子どもの体力向上のために「体力アップ推進事業」を進めています。すべての学校・園で、自校・園の実態に応じて、工夫を凝らした「体力アッププラン」を策定し、体育の授業をはじめ、学校教育全体で体力アップに取り組んでいます。また、ダンス体力アップの取組として、「北九州市キッズダンス」（小学生対象）や「ダンス・フォー・ザ・フューチャー」（中学生対象）を活用し、日常から音楽に合わせて、楽しく体を動かす機会を増やします。

今回は、体力アッププランモデル校や体力向上推進校の特色ある取組を紹介いたします。

高見小学校

八幡東区

子どもの体力を向上させるため、体育科の授業の工夫に取り組んでいます。準備運動で北九州市キッズダンスを導入したり、だれもが運動を繰り返し、身に付けるようにするシャトルサーキット学習などを行ったりして、運動の日常化を図っています。

そのほか、年間を通して全校一斉の朝の運動タイムを週2回実施し、運動の基本となる陸上運動、マット運動（三点倒立）、鉄棒運動、縄跳び、持久走、ボール運動などに運動場と体育館を使って計画的に取り組んでいます。

また、4年生以上の希望者でダンスチーム（高見ドリームキッズ）を結成し、「北九州市キッズダンス」や創作ダンスにも挑戦し、対外的な発表の場に参加しています。

その結果、子ども達の体力の向上が見られてきただけでなく、運動が好きな、身のこなしのよい子どもが育っています。



富野小学校

小倉北区

様々な教育活動を通して、児童の体力向上を目指した取組を行っています。

1. 体育科の取組

- ① 器械運動を中心に、基礎・基本を身に付ける指導の工夫を行う。
- ② 「とみのオリンピック」として、新体力テストを全校一斉に実施する。6年間の記録を継続して残し、その結果を運動習慣の改善や授業等に活用する。
- ③ 「持久走大会」に向けた全校5分間走を実施する。

2. 運動の日常化を目指した取組

- ① 児童会の活動として「運動委員会による外遊びの紹介」「放送委員会による外遊びの呼びかけ」等を実施する。
- ② 運動遊びのための用具の整備や掲示物の工夫をする。

3. 「食育」の観点からの取組

- ① 「カミカミデー」として、月1回、旬の食材を味わい楽しむ活動を通して、「食」への関心や感謝する心を育て、食生活の改善に役立てる。
- ② 各教科の指導に「食育の視点」を位置付け、食育の充実に努める。

以上のような取組によって、多くの児童が運動に親しみ、体力向上への実践力が高まりつつあります。

今後も児童の体力向上に向けて、様々な取組を工夫しながら行っていこうと考えています。



穴生中学校

八幡西区

「運動することが好き」と思える生徒を育成することを基本的な考えとし、日常の保健体育科の授業を中心として生徒個々の体力向上に取り組んでいます。また、新体力テストの結果から、各自がさらに補強すべき体力に気付かせ、進んで体力向上に取り組もうとする態度を養うこと、さらには、食事や睡眠などの基本となる生活習慣が、体力の向上を左右することに気づかせるよう心身両面からの実践に取り組んできました。

本校の特徴としては、体育科の授業で毎時間、準備体操・補強運動・5分間走を実施していることが挙げられます。腹筋運動、背筋運動、腕立て伏せ、馬跳び、補助倒立、5分間走を実施し、筋力の強化、敏捷性、調整力の向上、全身持久力の強化を図っています。



また、5分間走終了直後の脈拍数が150/分以上になることを目標としています。

その結果、男子は年々5段階評価（A～E）のA段階の判定を受ける生徒が増加し、E段階の判定を受ける生徒は減少していることが、大きな成果です。

このコーナーでは、毎回テーマを設けて、市内小中学校での特色ある取組について紹介しています。各校の先生や子どもたちの生き生きとした姿を、どうぞ見守ってくださるよう、ご理解とご支援をお願いします。

企救中学校

小倉南区

体力向上の一環として「柔道の授業を中心とした基礎体力向上の実践」を推進しています。

柔道を通して基礎的な動きや技を習得させ、筋力や巧緻性を身に付けさせるとともに、相手を思いやる心を育てることを目標にしています。

また、体育の授業時には、ウォーミングアップの中に毎時間「ダンス・フォー・ザ・フューチャー」によるダンスや集団走、補強運動等を種目に応じて効果的に設定しています。

その他、全学級対抗の企救中駅伝大会や昼休みを利用したトレーニング教室、ギラヴァンツ北九州の選手・コーチを講師としたスポーツ教室等を実施し、運動の楽しさを味わうこともできました。

このような体験をさらに深めて、健やかな体の育成に努めていきたいと思っています。



「武道」と「ダンス」の必修化について

平成24年度から中学校の新学習指導要領が全面実施になり、中学校保健体育科の授業で「武道」「ダンス」が必修となりました。報道等により心配に思われている方もいらっしゃるかと思います。

そこで、武道やダンスの新しい内容や現状をお知らせします。

- それぞれの学校の状況に応じて、「武道」は、中学校1・2年の間で、柔道、剣道、相撲の中から、「ダンス」は、創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスの中から、いずれかを選んで学習します。
- 男子も女子も必ず学習することになりますが、授業時間は、各学年で10～12時間程度です。
- 武道では、我が国の伝統と文化を尊重するとともに、自らを律し、相手を尊重する態度を養うことなどが期待されており、指導に当たっては、礼儀作法や安全に実施するための受け身が重視されます。



- ダンスでは、仲間とともに感情を込めて踊り、自己表現をする楽しさや喜びを味わい、交流を通してコミュニケーションを豊かにすることが重視されます。

北九州市では、これまでも、中学校において、「武道」と「ダンス」を選択して学習してきま

した。武道については、全国でもいち早く柔剣道場が整備され、安全面に配慮して、柔道場の量には、ソフト量が導入されています。

ダンスについては、ヒップホップの音楽を取り入れた「ダンス・フォー・ザ・フューチャー」という北九州市オリジナルのダンスDVDがつけられ、授業や行事の際に活用されています。

また、中学校の先生方は、「武道」「ダンス」の必修化に向けて研修を進め、指導力の向上を図っています。

さらに、柔道の授業の安全な実施に向けては、受け身を重視し、危険な技は取り扱わないなど、レベルに応じた段階的な指導を行うよう配慮しています。今後も新学習指導要領の実施に伴う「武道」「ダンス」の授業の円滑な実施に向けて、継続した取組を行ってまいります。



柔道の研修を受ける先生

マイスター教員

教育委員会では、特に指導力に優れた教員を平成21年度から「マイスター教員」と認定しています。平成24年度は7名の教員が認定されました。

その中のお一人、鷹の巣幼稚園で特別支援教育を担当されている西田久恵教諭を紹介しします。



鷹の巣幼稚園(特別支援教育) 西田 久恵 教諭

■マイスター教員に認定されての抱負

困っている幼児に気づいて、手立てを考えていくことは、周りの多くの幼児の手助けにもつながっています。特別な支援を考えていくことで、多くの幼児が過ごしやすくなればと思っています。さらに保護者や先生方や専門機関の方もつなげ、サポートの和を広げていきたいと思っています。

■谷口綾子園長先生からひとこと

西田先生は子どものつまずきに気づく優しいまなざしをもち、子どもの受け止め方がとてもやわらかい指導力のある先生です。

ノーベル化学賞受賞 根岸 英一 博士 講演会

『夢を持ち続けよう!』

北九州学術研究都市10周年を記念して、有機化合物の合成法「クロスカップリング」の分野で新たな方法を確立し、2010年にノーベル化学賞を受賞した、根岸英一博士(パデュー大学特別教授)の講演会が、平成24年2月17日に若松区ひびきので開催されました。

根岸博士は、参加した穴生中学校と黒崎中学校の生徒や市民の方約500人を前に、『夢を持ち続けよう!』のテーマで、「自分は何がよくなるか見極めることが大切、そして、そのことがとても好きであればやってみなさい。失敗を恐れてはいけません。たとえ、失敗しても、いろんな選択肢があるので、またやり直せばいい」と語りかけました。

遊ぶことが大好きで学校の授業以外はほとんど勉強しなかった子ども時代、猛勉強した高校時代、東京大学工学部卒業後、会社勤務を経て留学したアメリカの大学での素晴らしい教授との出会いなど、いろいろなエピソードがありました。その中で、中学・高校時代は基礎の勉強をしっかりすることが大切であり、高校の数学や理科はとても重要で、公式等は現在でも毎日のように使っていること、これからの若い人たちは、もっと積極的に世界の舞台に出て行くべきとの思いや英語の必要性について強調されていました。

また、興味深かったのは、人生の目的は、「幸せになること」であり、その4大要素は、健康であること、家庭が円満であること、世の中に役に立つ仕事ができること、趣味を持つことであると語られたことでした。生徒からの質問にもあった座右の銘は、講演会のテーマと同じく「大きな夢を持ち、それを追い続けること」。そして、ご自身は今もなお、触媒化学の分野で非常に困難な課題に挑戦し続けているという、飽くなき探究心を示され、生徒たちへもエールを送られました。

皆さんも改めて将来について考え、夢に向かって挑戦しましょう。



お知らせ

学校施設

耐震補強工事を

行っています。

○6月初旬から11月下旬までを予定

学校は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習や生活の場であり、災害時には地域住民の避難所となることから、学校施設に必要な耐震性能を確保するため、平成19年度から本格的に耐震補強工事を行なっています。今年度は夏休みを中心とする工事を次の学校で予定しています。

門司区(小学校5校、中学校2校)

- 小森江西小学校 ○小森江東小学校
- 西門司小学校 ○大積小学校
- 藤松小学校 ○緑丘中学校
- 戸ノ上中学校

小倉北区(小学校3校、中学校2校)

- 足立小学校 ○霧丘小学校
- 南丘小学校 ○富野中学校
- 南小倉中学校

小倉南区(小学校7校、中学校4校)

- 城野小学校 ○広徳小学校
- 守恒小学校 ○若園小学校
- 曾根小学校 ○沼小学校
- 吉田小学校 ○企教中学校
- 志徳中学校 ○横代中学校
- 城南中学校

八幡東区(中学校1校)

- 大蔵中学校

八幡西区(小学校4校)

- 青山小学校 ○熊西小学校
- 本城小学校 ○折尾西小学校

戸畑区(小学校2校、高校1校)

- あやめが丘小学校
- 天籟寺小学校
- 北九州市立高校



ごあいさつ

北九州市教育委員会教育長 **柏木 修**

この4月より、引き続き教育長として本市教育行政を担わせていただくこととなりました。

教育委員会では、「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」の基本方針に、「教育日本一を実感できる環境づくり」を掲げ、各施策を総合的に進めています。

このプランの推進にあたっては、学校、家庭、地域が総がかりで取り組む具体的な取組として、子どもの基本的な生活習慣の定着につながる「あいさつ」、「読書」、「元気（食育・体育）」、教育への市民参画を進める「スクールヘルパー」を4つの重点取組として掲げ、その推進に努めています。

平成24年度には、環境未来都市にふさわしい「環境教育の充実」、モデル中学校区における学校図書館嘱託職員の配置等による「読書活動の推進」、また、「学校施設の防災機能の強化」や「子どものための防災・安全教育の推進」、さらに、企業の社員によ

る出前授業や体験学習支援などをモデル校で実施する「経済界との連携による学校支援モデル事業」などの各種施策に取り組めます。

今年度も、未来を担う子どもたちの教育の充実に向け、全力を傾けてまいります。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



後列(左より)伊藤委員、野畑委員、柏木教育長
前列(左より)吉田委員、川原委員長、シャルマ委員

■伊藤 一義 新教育委員のコメント

4月から、新たに教育委員として教育行政を推進する立場となりました。よろしくお願いいたします。

「子どもFirst!」

教育委員 **吉田 ゆかり**

昨年7月に教育委員として辞令を受け、すぐに待っていた仕事が「中学校教科書の選定」でした。初めての経験でしたが、子どもたちの考える力や学力の充実のために、多くの出版社から提案された教科書について、各分野の専門の先生方が様々な角度から十分に吟味された意見に基づいて、教育委員が選定していく過程が実感できました。中学生の皆さんには、より良い学力の向上や学びやすさなどを観点に、皆さんのために選ばれた教科書に、是非親しんでアタックし、知識を深く掘り下げ興味を広げていただきたいと思えます。

また、昨年について忘れてはいけないのは、多くの悲しみが日本を包んだ東日本大震災です。自然の力の猛威に抗うのは大変困難なことかもしれませんが、子どもたちの命を守るために、日頃からあらゆる可能性を想定し備えておかなければなりません。昨年度、各学校では、校舎の立地条件や地域における災害の歴史などを考慮した「危機管理マニュアル」を作成しました。学校と家庭、地域が協力して、子どもの立場に立った防災訓練などに取り組み、いざというときに対処したいものです。

さらにもっと身近で重要なことがあります。みなさんは子ども（児童生徒）の死因の第1位が「事故」であることをご存知ですか。今一度、子どもたちの身の回りの危険について考えてみてください。事故にあわないように、起こさないように、自分を守る力を身につけてください。教育委員会としては、学校教員と共に、子どもたちにとっての安全環境整備に努めていきます。

教育委員として、これからも「子どもFirst!」の視点で教育行政を進めてまいりたいと考えています。

北九州市が「環境未来都市」に選定されました!

「環境未来都市」構想とは

環境未来都市は、政府の「新成長戦略」に掲げられた国家プロジェクトです。全国30都市が提案し、昨年12月に本市を含む11都市が選定されました。



北九州市環境未来都市が目指すまち

今後、人口減少や超高齢化が進む中、本市は環境未来都市の取組を進め、市民が中心の「誰もが暮らしたいまち」、「誰もが活力あるまち」の実現を目指します。

本市の教育分野の提案概要

今回は、提案内容のうち、「教育」にかかわる主なものを掲載します。環境未来都市の実現には、地域の皆さんの活動も重要です。ぜひ「地域づくり」などに一緒になって取り組みましょう。

■環境未来都市提案内容(教育部分)■

地域との絆を結び、世代をつなぐ 教育の推進

子どもの教育を支えるスクールヘルパー日本一

経済界と連携した学校教育の充実

地域と連携した学校運営

企業人による小学校校応援団



大学との連携



高齢者との連携



市内の企業など約150社で構成(H23.11現在)

4つのプロジェクト

- ① 出前授業
- ② PTA活動支援
- ③ 親学支援
- ④ 教職員研修支援

北九州市立文学館からのお知らせ

第3回「あなたにایتくて生まれてきた詩」コンクール ～ことばはやさしく、こころはふかく～

北九州市出身の詩人 宗左近さん、みずみかかずさんの業績を記念して、平成22年に創設されたコンクールです。ふるってご応募下さい。

- 募集内容 テーマは自由(ただしオリジナル作品に限ります)
- 募集対象 小・中学生
- 募集期間 6月1日(金)～9月30日(日)
- 応募方法 400字詰め原稿用紙(B4版)に、手書き3枚以内。文学館、各区総務企画課などで配布予定の応募用紙に必要事項を記入し、文学館まで郵送してください。また、ホームページからもダウンロードできます。(http://www.kitakyushucity-bungakukan.jp/)



北九州市立八幡西図書館 オープン!

本年7月1日(日)午前10時、八幡西区黒崎副都心「文化・交流拠点地区」に、最大約30万冊の蔵書能力をもつ八幡西図書館がオープンします。

中央図書館に次ぐ規模となるこの図書館では、視聴覚資料の貸し出しや、ICタグを活用した自動貸出機による本の貸し出しなど、市立図書館で初めてとなるサービスを提供します。

さらに、インターネット端末やオンラインデータベース、公衆無線LANの導入など市立図書館最大のインターネット環境を整備し、情報提供機能の高度化を図ります。

施設面では、2階と3階の閲覧スペースを、書架の高さを抑えた開放的な空間としたほか、3階の一般書などのフロアには畳の読書コーナー、2階の絵本・児童書などのフロアには子ども用トイレや授乳室などを設置しています。また、1階では学習室やカフェテリアもご利用いただけます。

現在、館内ではオープンに向けた準備を進めています。オープン後は混雑が予想されるため、貸出に必要な図書館カードをお持ちでない方は、運転免許証など住所を確認できるものをご用意のうえ、あらかじめ最寄りの図書館にお申し込みください。

- 開館時間 9時30分(オープン日は10時)～19時(土・日曜日、祝・休日は18時)
- 休館日 月曜日(祝・休日の場合は開館し、翌日が休館)、年末年始、館内整理日

■主な施設概要

- 所在地 八幡西区岸の浦二丁目2番1号
- 延床面積 約3,700m²(地上3階建)
- 駐車台数 42台(駐車開始から1時間無料、以降30分ごとに100円)
- 座席数 369席(学習室等を含む)

黒崎副都心 「文化・交流拠点地区」 平成24年7月1日 オープン

